

2022年度 立命館大学文学部
キャンパスアジア・プログラム
【入学後募集】
参加者募集要項

立命館大学文学部

2022年度 立命館大学キャンパスアジア・プログラムについて

立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラム(CAP)は、立命館大学・広東外語外貿大学(中国・広州)・東西大学校(韓国・釜山)・立命館アジア太平洋大学(APU)の4大学が共同運営する4年間のプログラムです。日中韓の3カ国を移動しながら、3カ国の学生がともに学び、東アジアに関わる知識や実践的な中国語・朝鮮語・英語の能力を身につけていきます。

このプログラムは、2022年度よりプログラムをリニューアルして、3つのコース制となりました。①キャンパスアジアコース(従来の中韓に2カ国2年留学するコース)、②アジアグローバルコース(キャンパスアジアコースに参加している学生から選抜し、4学期のうち1学期をAPUで学ぶコース)、③インテンシブアジアコース(中韓に1学期ずつ1年のみ留学するコース。APU学生のみが対象で、立命館大学学生の募集はありません)です。入学後募集では、①キャンパスアジアコースのみが募集対象となります。

キャンパスアジアコースでは、1年次で派遣前学習を行います。通常の学部カリキュラムに加えて、中国語・朝鮮語の特別授業や演習授業を受講し、中韓留学にそなえます。2年次・3年次では「移動キャンパス」として、広東外語外貿大学(中国)と東西大学(韓国)に1学期ずつ交代で2年間留学します。両大学で、共同運営に参加する4大学の学生が共同学習を行い、現地の社会・文化・歴史などを現地の言葉で学ぶ、という例をみない国際教育プログラムです。また4年次では、それまでに学んだ成果の集大成として卒業論文を執筆します。また、キャンパスアジアコースの学生は、移動キャンパスに1年間参加したのちに、実践的な英語力を養うために1学期をAPUで学ぶ「アジアグローバルコース」に応募することができます。

以上のように本プログラムでは、2カ国に2年間留学する4年間の国際教育プログラムとして、キャンパスアジア担当教員による指導などを通じて、派遣前学習から卒業までを一貫してサポートし、留学の成果を最大限に引き出し、グローバル人材として活躍するための高度な専門性と実践的語学力・コミュニケーション能力を身につけます。本プログラムに最後まで参加して「東アジア人」となる、意欲ある学生を募集します。

《新プログラムの新しい3つのコース》

1. キャンパスアジアコース(CAコース) 入学後募集の対象

中国・韓国に1年ずつ2年間留学するコース。

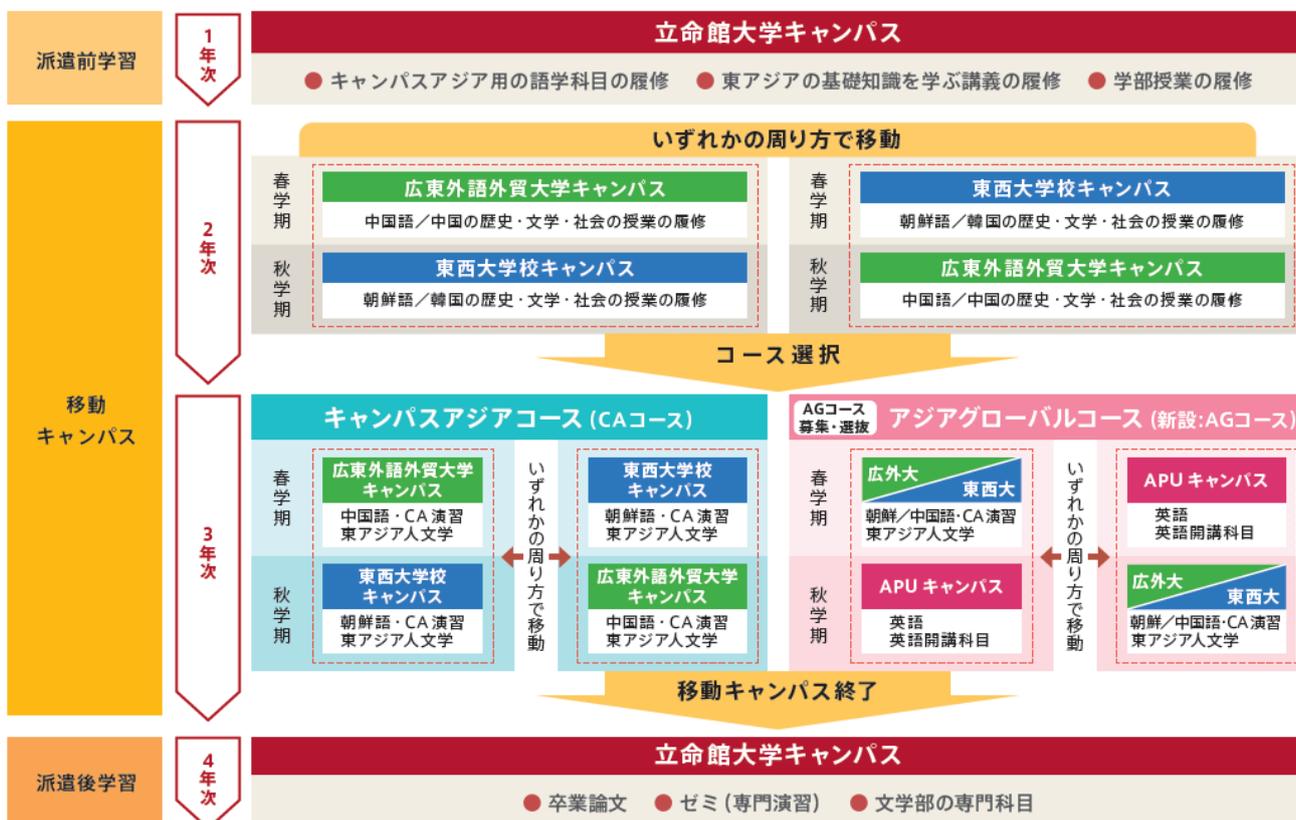
2. アジアグローバルコース(新設:AGコース) ※1周めの移動キャンパス終了時にCAコースの学生から選抜します。

2年間4学期のうち3学期は中韓に留学、1学期は立命館アジア太平洋大学で英語を学ぶコース。
キャンパスアジアコース参加者から選抜します。

3. インテンシブアジアコース(新設:IAコース) ※立命館大学学生の募集はありません。

立命館アジア太平洋大学の学生が中国・韓国に1学期ずつ1年間留学するコース。

キャンパスアジア・プログラムの学習モデル



2022年度 立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラム 【入学後募集】参加者募集要項

1 キャンパスアジア・プログラム参加希望者に求める人物像

下記項目にできるだけ多く該当していることが望ましい。

- ・東アジアの歴史、文化、言語などに強い関心を持ち、東アジアが抱える諸問題をグローバルな視点で理解・解決しようという意欲を備えていること。
- ・中国・韓国両国での長期留学について強い志望を持っていること。
- ・立命館大学および広東外語外貿大学・東西大学校・立命館アジア太平洋大学で勉強したいことについて、明確な計画を立てていること。
- ・自主性・自律性があり、課外活動等に積極的に取り組んでいること。
- ・国内外での異文化交流経験があること。
- ・卒業後、東アジアを中心に、国際的視野で活躍するキャリアビジョンと可能性を有していること。

2 募集対象

学部・学域	第一・第二外国語選択
文学部・全学域 ※国際コミュニケーション学域は対象外	中国語／朝鮮語両方を選択していること ※第一・第二の順は問わない

3 募集人数

10名程度

4 募集説明会

以下の日程で、プログラム担当教員による募集説明会を行います。応募を検討されている方はぜひご参加ください。

<日程> 4月5日(火) ① 13:30~14:00 ② 15:00~15:30 *①②とも内容は同じです。

<場所> 清心館地下1階 SE009教室

5 応募に必要な書類

(1) 志願票 (本学所定用紙: 書式 A-1)

(2) 志望理由書 (本学所定用紙: 書式 C-1 を表紙とする)

下記の3点について、日本語で800字~1200字で作成してください。

- ① 中国語・朝鮮語の学習歴、中国・韓国への興味
- ② キャンパスアジア・プログラムに参加して勉強したい・取り組みたいこと
- ③ 大学4年間および将来の計画・目標

(3) 中国語・朝鮮語能力試験等の合格通知書のコピー等 (取得している場合)

以下の検定試験に合格している場合やコンテスト出場時の以下の条件に合致している場合は合格通知書等のコピーを提出してください。複数の種類の証明書の提出も可能です。

- ① 中国語検定試験の合格証明書
- ② 新HSK(新漢語水平考試) 筆記試験の成績証明書
- ③ 韓国語能力試験 (TOPIK) の成績証明書

- ④ 「ハングル」能力検定試験の合格カード
- ⑤ 各団体等で実施している各種の中国語スピーチコンテストの参加証や受賞した賞の表彰状のコピーなど
- ⑥ 各団体等で実施している各種の朝鮮語スピーチコンテストの参加証や受賞した賞の表彰状のコピーなど

6 応募受付

(1) 応募書類の送付

必要書類を揃えた上で、文学部事務室窓口へ持参、もしくは簡易書留郵便で送付してください。

* 応募書類の返却はできませんので、あらかじめご了承ください。

* 応募書類を郵送する場合、封筒は任意のもので構いません。

*** 応募書類に不備がある場合は、書類を受理しません。**

(2) 応募期間

2022年3月28日（月）～4月8日（金）

(3) 応募先

<直接提出の場合> 4月8日（金）17:00 締め切り

清心館1階 文学部事務室窓口

<郵送の場合> 4月8日（金）必着

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学文学部事務室 キャンパスアジア事務局

※審査にかかる費用は無料です。

7 選考方法

書類選考および面接選考を総合的に評価した上で、合格者を決定します。なお、面接選考は個人面接となります。

*面接は原則日本語で行います。

<キャンパスアジア面接選考での評価ポイント>

「1 キャンパスアジア・プログラム参加希望者に求める人物像」に記載の内容を基準に選考します。

8 面接日・会場・合格発表

(1) 面接日：2022年4月12日（火） *不都合な時間帯がある場合は、志願票に記入してください。

(2) 面接場所：立命館大学 衣笠キャンパス

*集合時刻・集合場所は、4月1日（木）に発行される立命館大学学内メールアドレスへ

4月8日（金）中に連絡します。

(3) 合格発表日：2022年4月12日（火）中

*面接参加者の学内メールアドレス宛に、面接結果を通知します。

9 キャンパスアジア・プログラム派遣前学習科目の受講について

キャンパスアジア・プログラム参加者には、1年次で、文学部学部開講科目に加えて、派遣前学習として以下の科目を開講します。内容は、立命館大学ホームページからオンラインシラバスで参照できます。

<立命館大学オンラインシラバス検索 URL>

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/onlinesyllabus.htm>

(1) 履修科目について

キャンパスアジア・プログラム参加者は、文学部の授業と並行しながら、以下のキャンパスアジア・プログラム科目を履修します。

<1年次春学期>

- ・中国語（キャンパスアジア）Ⅰ 1単位
- ・朝鮮語（キャンパスアジア）Ⅰ 1単位
- ・キャンパスアジア演習Ⅰ 2単位

<1年次秋学期>

- ・中国語（キャンパスアジア）Ⅱ 1単位
- ・朝鮮語（キャンパスアジア）Ⅱ 1単位
- ・キャンパスアジア演習Ⅱ 2単位

(2) 合格後の受講登録修正

プログラム選考に合格された場合は、キャンパスアジア・プログラム科目を、すでに登録されている本登録科目と入れ替えます。

手続きの詳細については、面接結果通知で案内します。

(3) 既修者プログラム

中国語・朝鮮語の既修者については、正課の外国語に代えて、各言語の既修者プログラムの選考に応募し、語学力をさらに強化してください。既修者プログラムの選考日程は、入学時の新入生オリエンテーション時に案内します。

【派遣前学習科目一覧】

科目区分	科目名	単位数	備考
外国語科目	中国語・基礎	2	文学部必修の外国語科目 既修者プログラム許可者は別途既修者プログラムを受講
	中国語・表現Ⅰ・Ⅱ	各1	
	中国語・展開	2	
	朝鮮語・基礎	2	
	朝鮮語・表現Ⅰ・Ⅱ	各1	
	朝鮮語・展開	2	
	中国語(キャンパスアジア)Ⅰ・Ⅱ	各1	
朝鮮語(キャンパスアジア)Ⅰ・Ⅱ	各1		
専門科目	現代東アジア言語・文化概論Ⅰ	2	韓国・中国の文化・社会・歴史等について学ぶ概説科目
	キャンパスアジア演習Ⅰ・Ⅱ	各2	キャンパスアジア・プログラム参加生用に開講。 中国・韓国に関わる専門知識を習得することを目的とし、演習形式で開講

<参考> 履修モデル・留学中の学費・奨学金・協定校について

(1) 履修モデル

以下のような取得単位の目安で履修します。

	1年次	2年次	3年次	4年次
立命館大学	54 単位程度	60 単位を上限に認定 その他帰国時等に 4 単位程度履修		18 単位程度
↑				
広東外語外貿大学 東西大学校 立命館アジア太平洋大学		70 単位程度		

※各学域・専攻ではそれぞれ必修科目（卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目）が設定されています。

(2) 交換留学の費用

2・3年次の移動キャンパス中（留学期間中）でも、立命館大学の学費を所定の期日までに納入する必要があります。留学先大学の学費は、交換留学協定に基づき、免除されます（ただし、留学先大学で履修する科目によっては受講料等が自己負担となる場合があります）。自己負担が必要な経費としては、宿舍、食費、渡航費、保険料、ビザ申請料、書籍代等の費用があります。月々の生活費は、派遣国、各自の生活スタイル、為替、物価によって大きく異なります。

(3) 奨学金制度

立命館大学では、キャンパスアジア・プログラム派遣者に対して、「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」等を支給します。

【立命館大学海外留学チャレンジ奨学金】

※2021年度実績：1名あたり、韓国派遣 25万円・中国派遣 15万円（いずれも1学期期間（半年間）の金額）

(4) プログラム共同運営大学について

《広東外語外貿大学》

広東外語外貿大学は、1995年5月に広東外国語学院（1964年設立）と広州対外貿易学院（1980年国家外経貿部（現在の商務部）直轄の学校として設立）の合併によって設立された。国際化に特色を持つ広東省の重点大学であり、中国南部の国際的人材の育成、外国の言語・文化、対外貿易、国際戦略研究の重要な機関である。

中国南部の経済的中心である広州に4つのキャンパスを有し、文学・経済学・管理学・法学・工学・理学・教育学・芸術学の8つの学科のもと、25の学院、67の学位コースを設置している。特に外国語教育に関しては、合計28の外国語コースがあり、中国南部においては最も語種の多い教育機関である。2020年12月の学生数は、学部生約20,000人、大学院生約4,000人にのぼり、外国からの留学生（短期・長期を含む）は23,000人を超える。教職員の総数は約2,100人（専任教員約1,400人）であり、加えて約60人の客員教授、約100人の外国人教員も所属している。

大学の教育目標は「明德尚行、学貫中西（才徳兼備と品行方正、学問は世界に通じる）」であり、グローバル時代に活躍できる人材を育成するため、専門教育と外国語教育を高度に融合させ、異文化コミュニケーション能力と独創性を高める教育をおこなっている。また、日本・韓国・アメリカ・イギリスなど、56の国・地域における合計475の大学や学術機関と交流関係があり、学生の留学や教員の研究において高い国際的水準を有している。日中韓の首脳が提唱したキャンパスアジア・プログラムには、唯一外国語大学として選定されている。

《東西大学校》

東西大学校は、1970年に創立者の張聖萬氏が設立した東西学院が起源の私立大学である。東西学院は慶南専門大学を経て、1992年3月には東西工科大学に、1993年3月には東西工科大学校に改編された。現在の名称である東西大学校に改編されたのは1996年3月である。設置者の学校法人東西学院は東西大学校の他に慶南情報大学及び釜山デジタル大学校を運営している。特性化、情報化、グローバル化の3大戦略を掲げ、15学部75専攻で約11,000名の学生が学んでいる。地域産業と連携した教育特性化を推進し、AR/VRによる体験型授業、対面・非対面混合授業、AIチューティングシステムなどの導入をいち早く打ち出し、コロナ後の新たな大学教育を見据えたITキャンパスの充実振りは韓国の大学内でもトップクラスである。

また、米国、中国にもキャンパスを設立するなど、学生が韓国以外でも学べる環境を整え、様々なグローバル教育を実践している。特に、中国・武漢市に設立された韓中合作大学には映像コンテンツ学科とビジュアルコミュニケーションデザイン学科が設置され、韓国教育を海外に輸出する前進基地的役割を果たしている。世界42ヶ国237大学、都市および研究所との活発な交流および世界有数の企業とのインターンシップ契約締結など、国際交流および協力面においても多彩な国際プログラムを充実させ学生に提供している。韓国の大学としては早期に日本研究センターを設立し、文化交流事業や日韓次世代学術フォーラムなど、日本との活発な研究交流を行っており、韓国における日本研究の中心として高く評価されている。

《立命館アジア太平洋大学》

立命館アジア太平洋大学(APU)は、「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として、2000年に学校法人立命館が大分県別府市に設置した大学である。世界市民の育成を目的として、これまでにない全く新しい多文化学習環境を築いてきた。開学以来、世界150を超える国・地域から学生が集い、現在、約3,000名の国内学生、約2,500名の国際学生が、国や文化、宗教、政治、価値観等の違いを乗り越え、ともに暮らし、世界が直面する複雑な課題の解決を目指し学んでいる。

ほとんどの講義を日本語と英語で開講するアジア太平洋学部(APS)、国際経営学部(APM)の学士課程と、すべての講義を英語で開講するアジア太平洋研究科(GSA)博士前期・後期課程と経営管理研究科修士課程(MBA)を擁している。そのほか、開学に先立ち、立命館アジア太平洋研究センター(Ritsumeikan Center for Asia Pacific Studies: RCAPS)を設立し、アジア太平洋地域の持続的発展と共生を実現するための政策志向的な新しい教育研究領域である「アジア太平洋学」を構築することを基本目標の一つにしている。

現在、74か国・地域、485の大学・研究機関と協定を締結し、うち51か国・地域、163の大学・機関と交換留学プログラムを実施しており、また、韓国、米国、オーストラリア、フランスの4大学と学部レベルの共同学位プログラム(DDDP)も実施している。

世界的にもユニークな多文化・多言語環境の大学として評価されている。

【キャンパスアジア・プログラムに関するお問い合わせ先】

立命館大学 文学部事務室 キャンパスアジア事務局 電話:075-465-8187(平日9:00~17:30)

<http://www.ritsumei.ac.jp/campusasia/>